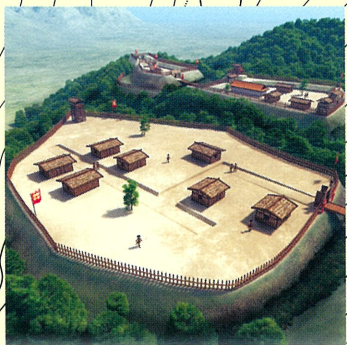


この城は、ささ郭（くるわ）・本郭（ほんぐるわ）・二郭（にのくるわ）・三郭（さんのくるわ）等の主要部が直線に並んだ連郭（れんかく）式の山城で、各郭は堀切（ほりきり）でそれぞれ分断され、周囲は急な崖や土塁・柵・櫓で守られていました。二郭と般若郭（はんやぐるわ）の通路脇には三時期に分かれて掘立柱建物群が建てられ、各虎口（こぐち）には門を設け、堀切には木橋や喰違いの造作がみられます。武田氏がよく用いた丸馬出が時期別に二ヶ所で確認され、三郭は後で増築されたことがわかりました。



【名胡桃城復元イメージ図】



般若郭



本郭 堀切木橋址



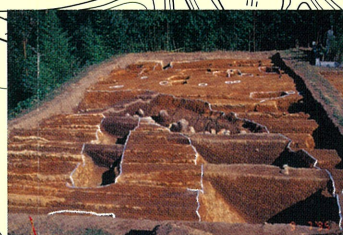
二郭 門礎石



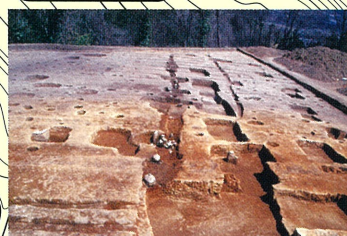
二郭 中央通路



二郭 堀切木橋址



三郭 三日月堀



般若郭 通路



馬出



ささ郭 門礎石



ささ郭 土塁と腰石垣

ささ郭堀切

本郭

本郭堀切

二郭

二郭堀切

三郭

三郭堀切

馬出

外郭

外郭

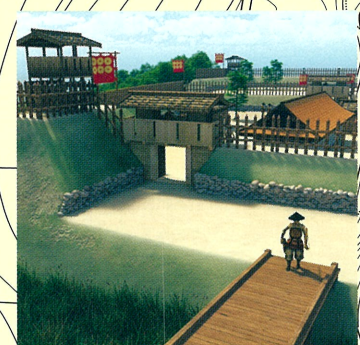
名胡桃城址全体図

物見

袖郭

ささ郭

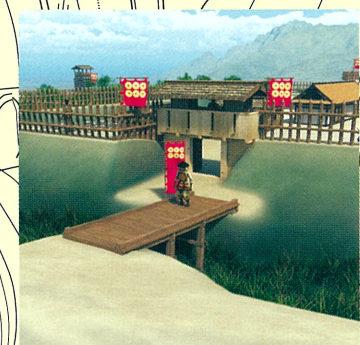
ささ郭



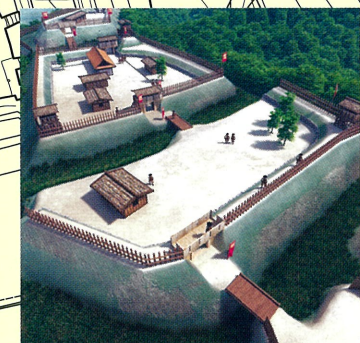
二郭 北側虎口



二郭



二郭 南側虎口



水の手

0 10 20 30 40 50m